



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年7月31日

上場会社名 セントラル硝子株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4044 URL http://www.cgco.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 皿澤 修一
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長 (氏名) 河部 守弘 TEL 03-3259-7062
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	56,219	25.1	3,191	36.0	3,880	37.1	2,589	37.0
27年3月期第1四半期	44,924	0.3	2,347	7.9	2,831	△12.5	1,890	△19.7

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 5,012百万円 (62.4%) 27年3月期第1四半期 3,086百万円 (△44.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	12.38	—
27年3月期第1四半期	9.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	289,425	161,034	54.6
27年3月期	283,439	156,580	54.4

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 158,158百万円 27年3月期 154,317百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	4.00	—	5.00	9.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	115,000	27.6	5,400	21.8	6,000	7.1	4,500	13.4	21.51
通期	234,000	17.6	11,000	△4.7	11,800	△17.6	9,200	△11.5	43.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

28年3月期1Q	214,879,975株	27年3月期	214,879,975株
28年3月期1Q	5,714,601株	27年3月期	5,710,849株
28年3月期1Q	209,167,714株	27年3月期1Q	209,196,426株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安や原油安などの影響により企業業績は改善傾向が続いており、所得・雇用環境の改善などから個人消費にも持ち直しの兆しが出てくるなど、景気は穏やかな回復基調で推移しました。一方、世界経済は、米国は好調を維持しているものの、中国の景気減速や欧州の政府債務問題の影響など、先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境の下、当社グループは積極的な販売活動を展開いたしました結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は56,219百万円と前年同期比25.1%の増加となりました。

損益面につきましては、経営全般にわたる業務の効率化・合理化施策を推進してまいりました結果、経常利益は前年同期比1,049百万円増加の3,880百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比698百万円増加の2,589百万円となりました。

セグメント別の概況

(ガラス事業)

建築用ガラスにつきましては、住宅市場を中心に建築需要は回復基調にあり、売上高は前年同期を上回りました。

自動車用ガラスにつきましては、国内では軽自動車税の税率引き上げなどの影響から出荷が減少したものの、円安や北米市場の旺盛な需要に加え、前年11月に米国Guardian Industries Corp.より買収をした子会社2社の売上寄与もあり、売上高は前年同期を上回りました。

電子材料用ガラスにつきましては、タッチパネル用関連製品の出荷量減少により、売上高は前年同期を下回りました。

以上、ガラス事業の売上高は35,812百万円（前年同期比43.5%増）となりましたが、損益につきましては354百万円の営業損失（前年同期比28百万円の悪化）となりました。

(化成品事業)

化学品につきましては、生産を停止しましたソーダ灰関連製品の出荷が減少したことなどから、売上高は前年同期を下回りました。

ファインケミカルにつきましては、リチウムイオン電池用電解液製品の出荷は減少しましたが、医薬関連製品の出荷が好調に推移したことや、半導体市場の活況を受け特殊ガス関連製品の販売も増加しましたため、売上高は前年同期を上回りました。

肥料につきましては、省力肥料を中心に需要が回復し、売上高は前年同期を上回りました。

ガラス繊維につきましては、電子材料並びに自動車分野の出荷が堅調に推移し、売上高は前年並みとなりました。

以上、化成品事業の売上高は20,407百万円（前年同期比2.2%増）となり、損益につきましては3,541百万円の営業利益（前年同期比864百万円の増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は289,425百万円となり、平成27年3月末に比較しまして5,985百万円増加しました。主な増加要因は、投資有価証券の時価の上昇などにより、固定資産が2,943百万円増加したことによるものです。

負債は128,391百万円となり、1,532百万円増加しました。

純資産は161,034百万円となり、自己資本比率は、0.2%増加し54.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間につきましては、ほぼ計画に沿った業績で推移しておりますため、平成27年5月11日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想は修正しておりません。この業績予想は、当社が現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因によりこれらの予想とは異なる場合があります。今後の状況の変化に伴う影響を慎重に見極めながら、適宜見直していくこととしております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当社及び一部の連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項（4）、連結会計基準第44-5項（4）及び事業分離等会計基準第57-4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,676	25,743
受取手形及び売掛金	50,456	47,493
商品及び製品	28,181	29,012
仕掛品	2,982	3,053
原材料及び貯蔵品	14,045	14,487
その他	10,006	8,561
貸倒引当金	△292	△251
流動資産合計	125,056	128,099
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,403	24,748
機械装置及び運搬具(純額)	36,087	38,102
土地	25,121	25,233
建設仮勘定	5,609	3,918
その他(純額)	2,985	3,227
有形固定資産合計	94,208	95,229
無形固定資産		
のれん	163	142
その他	1,242	1,296
無形固定資産合計	1,406	1,439
投資その他の資産		
投資有価証券	54,846	58,319
その他	8,274	6,689
貸倒引当金	△352	△351
投資その他の資産合計	62,768	64,657
固定資産合計	158,383	161,326
資産合計	283,439	289,425

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,467	22,623
短期借入金	24,392	27,162
未払法人税等	1,954	1,323
賞与引当金	1,424	577
その他	23,540	23,105
流動負債合計	73,778	74,791
固定負債		
社債	20,400	20,400
長期借入金	11,168	10,645
役員退職慰労引当金	17	13
特別修繕引当金	3,780	3,951
事業構造改善引当金	4,039	4,010
環境対策引当金	146	146
退職給付に係る負債	7,429	7,430
その他	6,097	7,001
固定負債合計	53,080	53,599
負債合計	126,859	128,391
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,168	18,168
資本剰余金	8,117	8,117
利益剰余金	106,729	108,185
自己株式	△2,865	△2,868
株主資本合計	130,149	131,603
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,681	24,453
繰延ヘッジ損益	△423	△239
為替換算調整勘定	2,736	2,124
退職給付に係る調整累計額	173	216
その他の包括利益累計額合計	24,167	26,555
非支配株主持分	2,263	2,875
純資産合計	156,580	161,034
負債純資産合計	283,439	289,425

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	44,924	56,219
売上原価	34,438	43,952
売上総利益	10,486	12,267
販売費及び一般管理費	8,138	9,075
営業利益	2,347	3,191
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	403	429
持分法による投資利益	15	44
為替差益	-	156
貯蔵品売却益	234	280
その他	249	282
営業外収益合計	908	1,198
営業外費用		
支払利息	97	102
為替差損	10	-
製造休止損失	142	155
その他	173	251
営業外費用合計	424	509
経常利益	2,831	3,880
特別利益		
固定資産売却益	18	18
特別利益合計	18	18
税金等調整前四半期純利益	2,849	3,899
法人税等	913	1,320
四半期純利益	1,936	2,578
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	45	△11
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,890	2,589

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	1,936	2,578
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,693	2,801
繰延ヘッジ損益	95	183
為替換算調整勘定	△609	△582
退職給付に係る調整額	57	43
持分法適用会社に対する持分相当額	△87	△12
その他の包括利益合計	1,150	2,433
四半期包括利益	3,086	5,012
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,084	4,977
非支配株主に係る四半期包括利益	2	35

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,948	19,976	44,924	—	44,924
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	551	556	△556	—
計	24,953	20,527	45,481	△556	44,924
セグメント利益又は損失(△) (営業利益)	△325	2,677	2,351	△4	2,347

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	ガラス事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	35,812	20,407	56,219	—	56,219
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3	352	355	△355	—
計	35,816	20,759	56,575	△355	56,219
セグメント利益又は損失(△) (営業利益)	△354	3,541	3,187	4	3,191

(注) 調整額は、セグメント間取引消去であります。